

令和7年度 第1回 三郷市スポーツ推進審議会会議録

開催の期日	令和7年8月4日(月) 午後3時00分				
閉会の日時	令和7年8月4日(月) 午後4時30分				
開催場所	市役所本庁舎7階 大会議室				
出席状況	委員15名中12名 事務局8名				
主な議題	1、開会のことば 2、会長あいさつ 3、部長あいさつ		4、議題 (1) 令和6年度スポーツ振興課事業報告について (2) 令和7年度スポーツ振興課事業計画について (3) 令和7年度スポーツ関係委員県外研修会について 5、その他 6、閉会		
1	東條 雅裕	⊕・欠	9	澁谷 竹司	⊕・欠
2	神白 高子	⊕・欠	10	高橋 萌木子	⊕・欠
3	駒崎 秀雄	⊕・欠	11	花岡 伸和	⊕・欠
4	豊田 幹雄	⊕・欠	12	豊田 康人	⊕・欠
5	遠井 和子	⊕・欠	13	飯島 豊	⊕・欠
6	高田 晴芳	⊕・欠	14	阿久津 進	⊕・欠
7	川上 トサ子	⊕・欠	15	吉田 由美子	⊕・欠
8	竹谷 賢二	⊕・欠			
事務局	小暮 勲	地域振興部長	事務局	湯浅 和行	スポーツ振興課長
事務局	中村 敬充	総合体育館係長	事務局	茂木 健一	スポーツ振興課 課長補佐兼 管理係長
事務局	豊田 守	陸上競技場公園園長 兼スカイパーク園長	事務局	吉田 亘	スポーツ振興課 スポーツ振興係長
			事務局	林 美和	スポーツ振興課 管理係主任
			事務局	木村 萌絵	スポーツ振興課 管理係主事
会議の概要または特記事項 傍聴人：0名					

【1. 開会のことば】

(司会進行：湯浅スポーツ振興課長)

【2. 会長あいさつ】

(東條会長：あいさつ)

【3. 部長あいさつ】

(小暮地域振興部長：あいさつ)

【事務局職員紹介】

(司会進行：湯浅スポーツ振興課長)

- ・ 審議会成立報告
- ・ 資料確認

【4. 議 題】

(司会進行：湯浅スポーツ振興課長)

【(1) 令和6年度スポーツ振興課事業報告について】

(議長：東條会長)

- ・ 事務局より「令和6年度スポーツ振興課事業報告」について説明

[花岡委員]

みさとの生涯スポーツ P6 のサイクリング教室については、雨で中止になっているが、エントリーは何名いたのか。

[事務局]

20名ほどエントリーがあった。

[竹谷委員]

陸上競技場の暑さ対策としてミストを実施していたようだが、現状はどうか。

[事務局]

昨年から一部ミストを変え、実施している。本年度よりインスタグラムを開設し、共用利用、個人利用のときにお客様の許可を受けて真ん中にホースで少し水まきタイムを開催して暑さ対策を行っている。

(東條会長より事務局説明について承認を求め、出席委員からは異議なし)

【（２）令和７年度スポーツ振興課事業計画について】

- ・事務局より「令和７年度スポーツ振興課事業計画」について説明

[花岡委員]

イベントの対象がどなたでも可としているものが多くなり、ありがたい。
どなたでも来て良いという情報は福祉部門から対象の方に周知されているのか。
また、スポーツ振興課と福祉部門は連携されているのか。

[事務局]

福祉系の各施設長と連携し、施設から利用者に周知している。

[豊田康人委員]

総合体育館のメインアリーナ空調工事について、１月１９日から３月末日を工期として工事予定とのこと。

総合体育館は事前に年間の日程調整を行うはずだが、利用予定団体への説明はどのようにしているのか。また、利用予定団体の活動場所の確保についてはどのような対応をしているのか。

[事務局]

昨年１２月に日程調整会議を実施し、三郷市のスポーツ関係団体から意見を聞き、年間で最も利用が少ない時期を工期として定めた。

利用予定団体にはすでに周知済みであり、他の体育館を代替案として提示した。メインアリーナは工期中全面使用中だが、サブアリーナ、会議室等は貸出可能としている。

[竹谷委員]

ギリシャ陸上選手団東京２０２５世界陸上事前キャンプを９月１日から１１日で実施予定とのことだが、選手団へのサポートや市民との交流など内容はどのようなものか。

[事務局]

まだ選手や種目など確定していないことが多いため、サポート内容は未定であるが、市民が観覧席から選手団の練習風景を見学できるよう、三郷市のホストタウン担当とスポーツ振興課で調整中である。

[高橋委員]

事前キャンプを陸上競技場で実施予定とのことだが、陸上競技場にはウエイトトレーニングできる場所が現状ではないが、どのように対応する予定か。

また、とても気温が高いことが予想されるため、熱中症には気をつけてほしい。

[事務局]

陸上競技場の事務所の後方に選手控え室があり、そこにトレーニングマシン(スミスマシン3台・ベンチ3台・フリーウエイト等)を設置予定である。
熱中症対策は厳重に行う予定。

(東條会長より事務局説明について承認を求め、出席委員からは異議なし)

【(3) 令和7年度スポーツ関係委員県外研修会について】

- ・事務局より「令和7年度スポーツ関係委員県外研修会」について説明
(東條会長より事務局説明について承認を求め、出席委員からは異議なし)

【5. その他】

[事務局]

- ・スポーツ推進計画数値中間目標の現状値について

[竹谷委員]

数値目標のNo.3 健康寿命の延伸について、令和元年から比較すると現状値が伸びているが、具体的に健康保険の利用率が減ったなど、事例は何かないか。

[事務局]

調べたのち、回答いたします。

【後日文書にて回答】

厚生労働省「介護保険総合データベース」の資料によると、三郷市では、新規の要支援・要介護者の平均年齢が令和元年には79歳であったのが令和5年には80.1歳となっています。これは、シルバー元気塾をはじめ、皆様のご協力のもと、スポーツの振興を図れたことが、介護予防効果向上の一因であったと思われます。

また、要支援、要介護になる平均年齢の上昇は、介護費用の支出を遅らせることに繋がり、負担軽減にも繋がっているものと考えています。

[東篠会長]

数値目標のNo.2 スポーツ・レクリエーション団体の加盟会員数の現状値について、令和元年から減少しているが、事務局はどのように考えているか。

[事務局]

年々、スポーツ協会、スポーツ少年団内のチーム数が減少しており、それにより会員数も減少している。これが数値目標のNo.8の半田公園利用者数の減少にも起

因すると考えられる。今後、スポーツを体験できる機会を増やすなど PR 活動に力を入れ、各団体への加盟率を上げるよう取り組んでいく。

[竹谷委員]

数値目標のNo.6 陸上競技場の利用者数とNo.7 スカイパークの利用者数について、令和元年から比較すると増えているが、これは市民への利用の促進の成果なのかそれとも市外からの誘致ができたためなのか。

[事務局]

両施設とも市外の方の利用が多く特に陸上競技場では、関東ラグビーの大学リーグ戦や平成国際大学の記録会での利用により、1日で1,000人以上の利用となることもある。

[竹谷委員]

市内在住者に限って集計をとった方が、三郷市のスポーツ推進計画の自主的な数値目標になると考える。

[事務局]

ご意見ありがとうございます。

[高橋委員]

数値目標のNo.5 児童・生徒の体力向上の数値の現状値について、令和元年から減少している。

[事務局]

部活動の地域移行が要因として考えられる。学校の先生方の働き方改革等により減ったものを補うことができないか、スポーツ振興課とスポーツ協会・スポーツ少年団・レクリエーション協会・スポーツ推進審議会委員の皆様とで連携を取りながら検討したい。

[豊田幹雄委員]

スポーツ施設の新たな構想は何かあるか。

[事務局]

現状は特になし。既存施設の修繕に注力する。

[駒崎副会長]

審議会は、委員の皆様からもスポーツ施設の新たな構想を提案していく場でもある。オープン戦ができる野球場が三郷市にできればより良いと考える。

数値目標のNo.2 スポーツ・レクリエーション団体の加盟会員数が減少している件については分析すべき。

スポーツ協会の中に新たなスポーツの団体の入会ができるよう、働きかける必要がある。

[事務局]

ご意見ありがとうございます。

[竹谷委員]

三郷市の運動施設には日陰が少ない。場所によってはないところもある。今後も酷暑が続くと見こまれるため、熱中症対策として日陰づくりを検討してほしい。

[事務局]

ご意見ありがとうございます。

[花岡委員]

先月発表された新しい国のスポーツ振興計画の中にeスポーツが初めて盛り込まれた。障害のある人間からすると、eスポーツのバーチャルの世界は、究極のバリアフリーエリアになるため、インクルーシブなスポーツという観点と、国がeスポーツの振興と言い出したのは非常に良い話だと考える。今後、三郷市のスポーツ推進計画の中で、eスポーツも盛り込んでいただきたい。

[事務局]

ご意見ありがとうございます。

[吉田委員]

来年、埼玉県でねんりんピックが開催される。草加市のSAP草加ボウルがボウリングの会場である。団体として、レイクタウンでイベントの啓発を検討しているが、三郷市では何か実施するか。

[事務局]

三郷市でもスポーツチャンバラの開催地となっており、今年の9月21日（日）に総合体育館で、スポーツチャンバラのプレ大会を開催する予定。長寿いきがい課と連携して準備を進めている。

- ・ 次回の審議会の日程について報告。（令和8年2月中旬頃の開催予定。）

【6. 閉会】

駒崎副会長より閉会のあいさつ。